

京丹後市宇川における米軍基地建設計画の撤回を要求する特別決議 米軍Xバンドレーダー基地建設の5月着工反対！

米日両国政府は2013年2月22日、日本の京都府京丹後市宇川地区に米軍Xバンドレーダー基地を新たに建設すると公表した。約160人の米軍人・軍属の常駐が計画されているこの米軍基地は、朝鮮民主主義人民共和国の弾道ミサイルの迎撃を主目的とするもので、米国のミサイル防衛システムの重要な一部となるものである。この新たな米軍基地の建設は、東アジアの軍事的緊張をさらに高め、米日軍事一体化と日本の戦争準備の重要な一部となるものである。安倍政権は現在、集団的自衛権行使の合憲化を狙っているが、米軍Xバンドレーダー基地建設はまさにその先取りにほかならない。同時に、宇川における米軍Xバンドレーダー基地の建設は、近畿地方で最初の米軍基地建設となるもので、近畿地方北部を戦争準備の最前線とするものである。私たちは、このような米軍基地建設に反対し、米日両国政府に対して基地建設計画の撤回を強く要求する。

宇川の住民は、基地や軍隊に脅かされることを拒否してきた。豊かな自然と共生する平和な生活を子どもたち、孫たちに引きついでいくために、この米軍基地建設に反対してきた。宇川地区ではすでにこの米軍基地の建設計画の撤回を要求する署名が住民の過半数を超えた。さる4月20日には、関西一円、そして沖縄・岩国・神奈川の反基地運動の代表など日本各地から400人が宇川地区に結集し、多くの住民が歓迎するなかでデモンストレーションが行われた。

しかし、在日米軍と日本の防衛省は、地元の住民の反対の声を無視して、基地建設を強行しようとしている。在日米軍に義務付けられている「日本環境管理基準」にもとづく環境影響評価すら実施されていない。在日米軍と防衛省は、この5月にも具体的な基地建設工事を着工すると宣言している。そんなことは断じて許されない。

民衆こそが主権者である。「外交・防衛は国の専権事項」などという日本政府の主張は絶対に認められない。米日両国政府には、人々に米軍基地を押しつける権利などないのだ。

私たちはこの新たな米軍基地建設計画に抵抗する「米軍基地建設を憂う宇川有志の会」および「米軍Xバンドレーダー基地反対・京都連絡会」、同「近畿連絡会」のたたかいを支持する。そして、米日両国政府に対して、基地建設工事の5月着工を中止し、この新たな米軍基地建設計画を撤回するように強く要求する。

同時に私たちは、沖縄・岩国・神奈川など日本各地の反基地運動、韓国・済州島での海軍基地建設反対闘争、フィリピンをはじめアジア太平洋各地で米軍基地と米軍プレゼンスの増強とたたかっている民衆への私たちの心からの連帯を表明する。

宇川での米軍Xバンドレーダー基地建設を撤回せよ！

5月工事着工を中止せよ！

米軍はアジア太平洋地域から総撤収せよ！

2014年5月4日

第17回AWC-CCB会議（於・ソウル）